

【Remudy ニュースレター第8号】

ステロイドの効果について…

配信日:2012年 3月 06日

昨年(2010年), デュシェンヌ型筋ジストロフィー(DMD)に対するプレドニゾロン(0.75mg/kg 連日・経口投与)を推奨する米国神経学会(AAN)、米国小児神経学会(CNC)のガイドライン(Neurology 2005; 64: 13-20)とこれを支持する報告がなされました(Lancet Neurol 2010; 9: 77-93, 177-189)。なお、投与方法についてはいくつかの方法があり、たとえば昨年の時点でCINRG参加施設では、投与患者さんのうち85%が連日投与を受けています。また昨年、米ジョージア・ホプキンス大学のDiana M. Escolarらは、投与方法を10mg/kg/週末に変えても、連日投与と有効性および体重増加、成長障害などの副作用に差がないと報告しました(Neurology 2011; 77: 444-452)。今後の研究にも注目しています。

<http://www.neurology.org/content/77/5/416.extract>

日本では、Remudy登録患者さんのデータを解析しましたところ、50%以上の方が未使用です。

現在、Remudyの登録患者さんのデータを解析中です。日本のDMD患者さんに対するステロイドの効果についての検討も進めてまいります。

ご質問やお問い合わせは、remudy@ncnp.go.jp にどうぞ。